

介助する動物たち～私のことを知って～ *I want you to know about me*

January 23, 2019

By Machiko Arita
374th Airlift Wing Public Affairs

1月18日、横田基地のエアマン&ファミリー・レディネス・センターが補助動物に関するワークショップを開催した。参加者は、介助・感情支援・セラピー動物の違い等について学び、またそれぞれに適用されている法律について学んだ。ワークショップでは、航空機での移動、PCS(転属)、補助動物と暮らす住居、また補助動物利用者への一般の人の関わり方についても説明された。

このワークショップで講義した第374軍支援中隊特別家族会員プログラムの家族支援コーディネーターのジェン・ウオン氏は、介助犬のハンドラーだ。彼女は講義に介助犬「ケーシー」を連れて登壇した。ケーシーは講義の中で、きちんと訓練された介助犬を飼うことの大切さを皆に見せた。

「ケーシーは、横田基地に来た最初の介助犬だったかもしれません。横田に来た時、誰にとっても新しいことのように感じました。皆、いろいろな種類の補助動物のことや、それらがどんな支援のために用いられているのか、一般の人がどう接してよいのか知りませんでした。正しい情報を伝え、より受け入れられていくように人々に教えたいと思いました」とウオン氏は語った。

ワークショップの後、ウオン氏はさらに感想をこう付け加えた。

「皆にとっても興味を持ってもらえて、手応えを感じ嬉しく思いました。今日のワークショップを通じて、人々がいろいろな種類の犬やベストがあることを学び、最初の段階である、介助犬を使う人々への理解を深め、社会に受け入れられる気持ちを学んでくれたと思います」とウオン氏は述べた。

ウオン氏とケーシーは、横田基地のコミュニティーにおいて人々が補助動物に理解を深め、多様性を許容する社会をつくるため、先駆けとなり活動を始めた。

